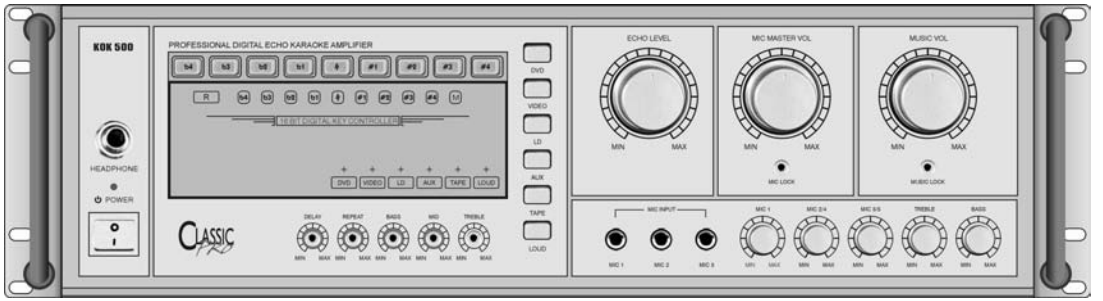
CLASSIC PRO

KOK 500

Professional
Karaoke
Amplifier

SOUND BY PERFECTION



取扱説明書

株式会社サウンドハウス
〒286-0044　千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL: 0476(22)9333　FAX: 0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp　shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、CLASSIC PRO社 KOK500をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。

KOK500の性能をフルに発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

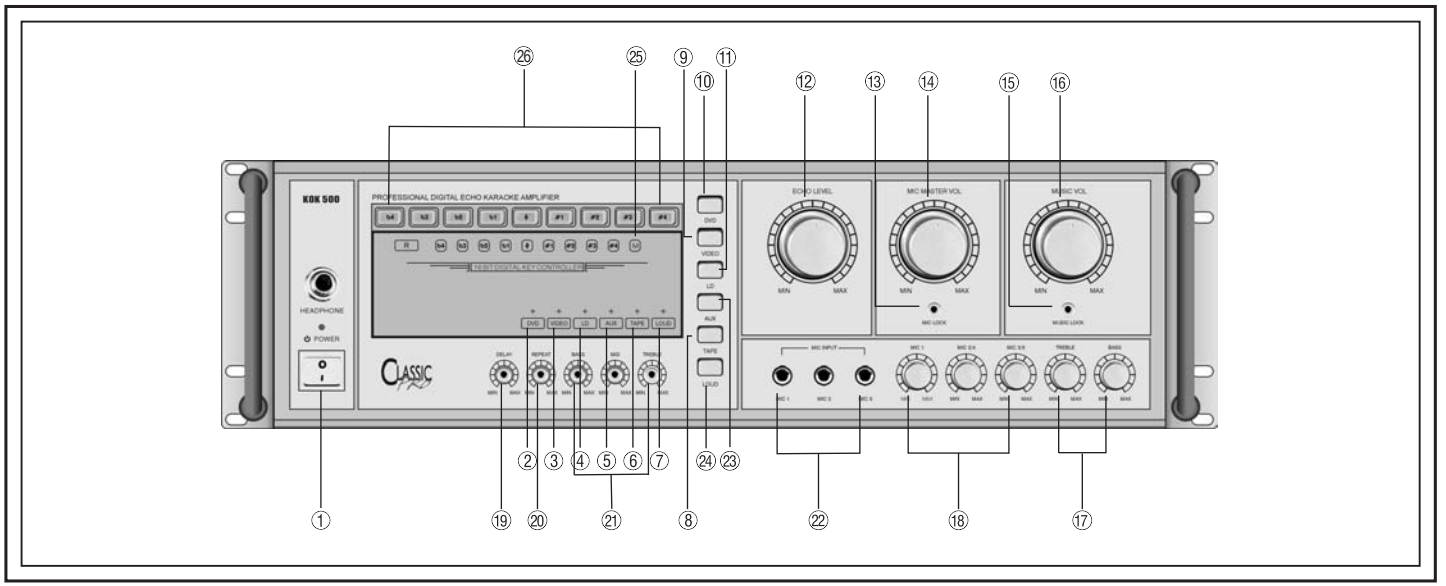
ご使用の前に

1. この取扱説明書に従って操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧AC100V、50/60Hzで御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらないよう、ご注意下さい。
7. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないで下さい。修理が必要な時には、販売店、もしくは輸入代理店までお問い合わせ下さい。

特 長

- 16 bit、9ステップ・デジタル・キーチェンジャー（4シャープ、4フラット）
- 20 bitデジタル・エコー・エフェクト、エコーリピート調整可能
- デジタル・チューン・コントロール
- オーディオ入力ステレオ5系統、DVDなど映像3系統のソースの入力が可能
- ボリューム、エフェクト用隠しコントロール・ノブ装備
- ボリューム、エフェクト、モータードライブ・ノブ装備
- ビデオ、オーディオの自動シンクロ機能
- フロント及びリアパネル両方に合計5系統のマイク入力搭載。3系統はチャンネルごとに独立してボリュームの個別操作が可能
- 180W+180W(8Ω)高出力パワーアンプ内蔵
- マルチスピード冷却ファン搭載（ロー・ノイズ・タイプ）
- 赤外線リモコン付属
- 3Uラックマウントキット付属

各部の名称と機能 フロント・パネル



① 電源スイッチ：
このスイッチを押すとアンプの電源が「ON」になります。もう一度押すと電源が「OFF」になります。

② ラウドネス表示LED
このLED表示が点灯している場合、ラウドネス機能が作動している事を表します。ラウドネス機能が作動すると、高域と低域のレベルが上がります。LED表示が消灯している場合は通常モードを表します。

③ TAPE LED
テープ入力に音声信号が入力されていることを示します。

④ AUX LED
AUX入力に音声及びビデオ信号が入力されていることを示します。

⑤ LD LED
LD入力に音声およびビデオ信号が入力されていることを示します。

⑥ VIDEO LED
VIDEO入力に音声およびビデオ信号が入力されていることを示します。

⑦ DVD LED
DVD入力に音声およびビデオ信号が入力されていることを示します。

⑧ TAPE入力コントロール・ボタン
テープ音声入力を作動させます。

⑨ VIDEO入力コントロール・ボタン
ビデオ機能を作動させます。

⑩ DVD入力コントロール・ボタン
DVD機能を作動させます。

⑪ LD入力コントロール・ボタン
LD機能を作動させます。

⑫ デジタル・エコー・レベル・コントロール
マイクのエコーのかかり具合を調節します。

⑬ マイクボリューム設定のロック機能
マイクのボリュームつまみの最大音を設定します。マイナスドライバー※で調整してください。

⑭ マイク・マスター・レベル・コントロール
マイク出力全体の音量を調節できます。

⑮ ミュージックボリュームのロック機能
ミュージックのボリュームつまみの最大音を設定します。マイナスドライバー※で調整してください。

各部の名称と機能 フロント・パネル （つづき）

⑯ ミュージック・レベル・コントロール
ミュージックのメイン出力の音量を調節できます（アンプを使用していない時は必ず最低音量に設定して下さい。最大音量に設定すると、スピーカー・システムにダメージを与える恐れがあります）。

⑰ トレブル、ベース
低域と高域のトーン・コントロールです。

⑱ 個別マイクレベル調整
多人数でカラオケを楽しめるようフロントパネルに1、2、3、リアパネルに4、5マイク入力チャンネルを搭載。1は独立、2、4と3、5のコントロールは兼用です。

⑲ エコー調整
エコーの間隔を調節します。間隔を長くしたい場合は右へ、短くしたい場合は左へ、マイナス・ドライバー※を使って回してください。

⑳ エコー・リピート回数調整
エコーの回数を調節します。エコーの回数を多くしたい場合は右へ、少なくしたい場合は左へ、マイナス・ドライバー※を使って調節して下さい。

㉑ マイク音質調整（低、中、高域）
マイクの低、中、高域を調節します。マイナス・ドライバー※を使って調節して下さい。

㉒ マイク入力（マイク1、2、3チャンネル用）
多人数でカラオケをお楽しみいただけるよう、KOK500には複数のマイク入力が搭載してあります。各マイク入力端子にマイクケーブル（本製品に含まれておりません）を差し込んで下さい。

㉓ AUX入力コントロール・ボタン
AUXライン入力に接続された外部機材（カセットデッキ、LD、MD、ビデオデッキ、CD+グラフィック・プレーヤー等）を選択し作動させます。

㉔ ラウドネス・コントロール・ボタン
ボタンを「ON」にするとラウドネス機能が作動します（高、低域がブーストされます）。もう一度ボタンを押して「OFF」にすると、通常モードに戻ります。

㉕ MモードLED
Mモードに設定すると音量をユーザーが設定できます（LEDが点灯）。下記参照。

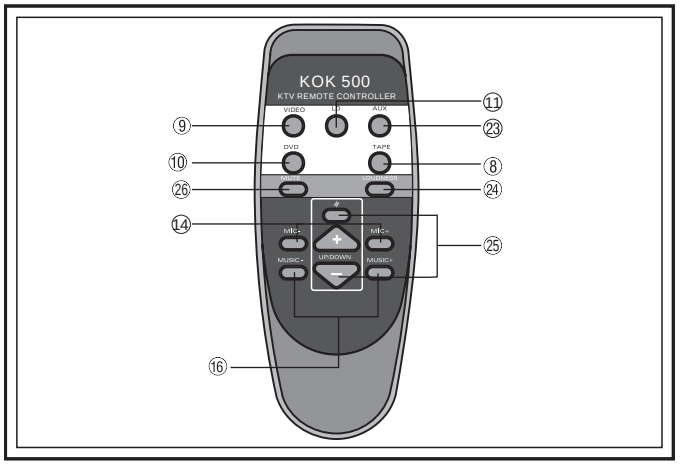
㉖ キー・トーン・コントロール・アクセス・ボタン
ボタンを押すと、あなたの歌声に合わせ、曲の音階を変えることができます。♯は半音ずつ上がり、♭は半音ずつ下がります。中央のボタン（♮）を押すと元の音階に戻ります。又は曲を変更、停止しても元の音階に戻ります。

※マイナスドライバーは本製品に付属しておりません。

□ Mモード・プリセットレベルの変更方法

1. MICの設定方法：電源ON直後、b1を押すと"M"という文字が点灯、表示されます。自動でMIC VOLがミニマムレベルまで調節され、その後#1ボタンを自分が設定したいレベルに動くまで（時計回りに動きます）押しつづけます。この設定は自動的に保存され、次回よりスイッチをオンにすると、設定された値まで自動的に調整されます。ユーザープリセットで動作中は"M"という文字が常時点灯しています。
2. MUSICの設定方法：電源ON直後、b1を押すと"M"という文字が点灯、表示されます。自動でMUSIC VOLがミニマムレベルまで調節され、その後#2ボタンを自分が設定したいレベルに動くまで（時計回りに動きます）押しつづけます。　この設定は自動的に保存され、次回よりスイッチをオンにすると、設定された値まで自動的に調整されます。ユーザープリセットで動作中は"M"という文字が常時点灯しています。
3. ユーザープリセットを設定した状態から初期のプリセット状態に戻す時：電源ON直後、b1を押すと"M"という文字が消灯して基本プリセットモードに戻ります。その後"M"という文字は常時消灯しています。
4. 記憶したユーザープリセットは"M"を消灯させても保持されていますので再度"M"を点灯させるだけでユーザーメモリが呼び出されます。
5. ECHOポジションのユーザープリセットはサポートされていません。

各部の名称と機能 ワイアレス・リモート・コントローラー

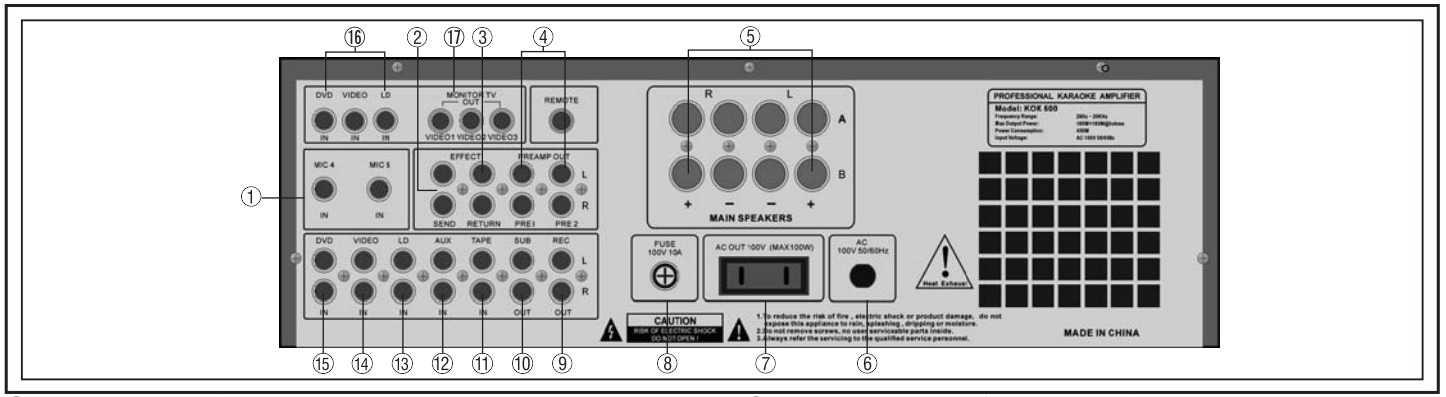


各ボタンの解説は番号を元にマニュアルを参照して下さい。

＜電池の取り付けについて＞

1. 裏面バッテリー・カバーを外して単三電池2本を取り付けて下さい。内部の＋/－マークと電池の＋極、－極が一致するように取り付けて下さい。
2. 異なる種類の電池、又は新旧の電池の併用はしないで下さい。
3. リモート・コントロール機能が鈍ってきたら新しい電池と交換して下さい。
4. 長期間使用しない場合は、液漏れ、サビを防ぐため電池を外して下さい。
5. 電池が液漏れした場合は新しい電池を入れる前に必ず液体を拭き取って下さい。

各部の名称と機能 リア・パネル



① 予備マイク入力（マイク4、5）
多人数でカラオケをお楽しみの際に便利な予備マイク入力です。コントロールは2、3と共通です。

② サウンド・エフェクト出力（センド）
KOK500のオーディオ信号を外部のプロセッサーやイコライザーへ送ります。

③ サウンド・エフェクト入力（リターン）
外部のプロセッサーやイコライザーで処理されたオーディオ信号を入力します。
注意：②と③はジャンパーピンで接続されています。通常ご使用の際はジャンパーピンは抜かずにご使用下さい。抜いた場合信号がパワーアンプへ流れなくなる為スピーカー端子より音が出なくなります。

④ プリ・アンプ出力
パワーアンプより前の信号を出力します。ボーカルと音楽の信号をミックスし、エコーやイコライジングなどの音響補正をして出力する端子です。

⑤ スピーカー用出力端子
ボーカルと音楽の信号をミックスし、エコーやイコライジングなどの音響補正後、パワーアンプで増幅された信号を出力する端子です。インピーダンス4～16Ωのスピーカーを接続して下さい。それ以下のインピーダンスのスピーカーを接続すると故障の原因となります。

⑥ AC電源コード
100VAC、50/60Hzの電源に接続して下さい。

⑦ AC電源コンセント
100V/100Wの電源を供給できます。KOK500と接続する電気製品の電源プラグをこのコンセントに接続して下さい。この電源のON/OFFはフロント・パネルのアンプ電源スイッチから切り替えできます。

⑧ マスター・ヒューズ（100V/10A）
アンプへの過負荷を防ぐために安全ヒューズが取り付けられています。

⑨ レコーダー用出力端子
録音用のライン出力です。REC OUTの出力は、ミュージックボリュームで可変するため、録音レベルは前面のミュージックボリュームで調整します。また、スピーカーへの音声出力はMUSIC LOCKにて調整してください。

⑩ サブ出力端子
予備の出力端子です。ただしこの出力は、キーコントロール機能が効きません。

⑪ テープ入力端子
テープデッキの音声信号を入力します。

⑫ AUXライン入力端子
カセット・デッキ、LD、MD、ビデオデッキ、CD+グラフィック・プレーヤー等の音声信号を入力します。

⑬ LD入力端子
LDプレーヤーの音声信号を入力します。

⑭ VIDEO入力端子
ビデオデッキの音声信号を入力します。

⑮ DVD入力端子
DVDプレーヤーの音声信号を入力します。

⑯ 映像入力
DVD、VIDEO、LDの映像信号を入力します。

⑰ MONITOR TV OUT
モニターテレビに接続します。同時に3系統まで出力可能です。モニターテレビまでの同軸ケーブルは75Ωを使用し、1台あたりの長さは50mまでとしてください。

ご注意

1. 必ず通気性の良い場所に設置して下さい。
針、貴金属、硬貨等を本体内部に入れないで下さい。火事や感電の恐れがあります。本体後方と壁の間は8cm以上空け、本体の冷却ファンの周りに通気を妨げる物が無いことを確認して下さい。本体は直射日光があたらず、涼しい場所に設置して下さい。

2. 水と湿気
落雷が発生した際には電源からコードを引き抜いて下さい。本体を浴室、洗面所、プールなどの高温多湿の場所、またはホコリの多い場所に設置しないで下さい。花瓶等の水を含む物や重い物を本体の上に置かないで下さい。

3. 電源
必ず100VAC、50/60Hzの電源に接続して下さい。電源の過負荷、過度のタコ足配線は危険ですのでお止めください。また磨り減ったコードや壊れたプラグも危険ですので、必ず販売店又は正規代理店へ修理を依頼して下さい。電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せないで下さい。コードを持ってプラグを引き抜いたり、濡れた手でプラグを引き抜かないで下さい。電源を「ON」にする前にコードの接続が正しい事を確かめて下さい。不自然なノイズ、匂い、煙が出たら直ちに電源コードを引き抜き、販売店又は正規代理店へ修理を依頼して下さい。

4. 修理
本体カバーを開けるのは危険です。修理はCLASSIC PRO販売店又は(株)サウンドハウスへ依頼して下さい。

5. 掃除
スプレーなどの可燃物を近づけないで下さい。掃除をする前に必ず電源コードを抜いて下さい。柔らかい布を使って汚れを拭き取って下さい。直接水や殺虫剤を吹き付けたり、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤で本体を拭かないで下さい。

本体仕様

出力	180W ＋ 180W（8Ω） 250W ＋ 250W（4Ω）
周波数特性	20Hz ～ 20kHz ±1dB
入力感度/インピーダンス 　マイク 　ライン	 5mV ～ 100mV/600Ω 250mV/47kΩ
ミュージック/マイク トーンコントロール ミュージック 　低域 　高域 マイク 　低域 　高域	 ±8dB ±8dB ±5dB ±5dB
出力感度/インピーダンス オーディオ周波数	 0.707V/1kΩ
出力インピーダンス 　ショート防止 　インピーダンス	 4 ～ 16Ω 8Ω
電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	450W
電源プラグ	AC100V 10A
寸法	500×425×185mm(3Uラックマウント可能)